

「JENESYS2.0」

香港高校生訪日団

訪問日程 平成26年2月4日（火）～2月12日（水）

1 プログラム概要

香港特別行政区政府教育局が派遣した香港高校生訪日団計69名が、2月4日から2月12日までの8泊9日の日程で来日しました。（団長＝劉志遠（リュウ・シエン）香港道教連合会鄧顕紀念中学・校長）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、訪日団は、東京をはじめ、愛知県、兵庫県、滋賀県、京都府、大阪府を訪問し、「クールジャパン」を含め、さまざまな分野における日本の魅力、強みを体感したほか、愛知県・兵庫県における学校交流やホームステイ等を通じて、日本の高校生との友好交流と相互理解を深めました。

2 日程

2月4日（火）

成田国際空港より入国

2月5日（水）

オリエンテーション、日本社会におけるキャラクター文化と日本人気質に関する講義、国会議事堂視察、皇居・二重橋見学、歓迎会

2月6日（木）

○第1グループ 愛知県へ移動、愛知県政の説明、徳川美術館見学

○第2グループ 兵庫県へ移動、兵庫県政の説明、兵庫県立美術館見学

2月7日（金）

○第1グループ 学校交流（愛知県立木曾川高等学校、愛知県立昭和高等学校、愛知県立津島高等学校）、ホームステイ

○第2グループ 学校交流（兵庫県立国際高等学校、兵庫県立芦屋国際中等教育学校）、ホームステイ

2月8日（土）

ホームステイ（愛知県、兵庫県）、ホームステイ解散式

2月9日（日）

○第1グループ トヨタテクノミュージアム 産業技術記念館視察、日本文化体験（七宝焼き）

○第2グループ カワサキワールド視察、日本文化体験（和ろうそく作り、絵付け）

2グループ共に滋賀県へ移動、和風温泉旅館で日本文化体験

2月10日（月）

金閣寺見学、京都国際マンガミュージアム視察、立命館大学訪問・交流

2月11日（火）

大阪府へ移動、津波高潮ステーション視察、商業施設視察、大阪城見学、歓送報告会

2月12日（水）

関西国際空港より帰国

3 写真

	
<p>2月5日 陸川和男 株式会社キャラクター・データバンク代表取締役社長による講義(東京都)</p>	<p>2月5日 講義における質疑応答(東京都)</p>
<p>2月5日陸川和男株式會社 Character Databank 代表董事社長的講座(東京都)</p>	<p>2月5日 講義中の答疑(東京都)</p>
<p>2月5日 陆川和男 株式会社 Character Databank 代表董事社長的講座(東京都)</p>	<p>2月5日 講座中の答疑(東京都)</p>
	
<p>2月5日 国会議事堂視察 議長サロンで 江田五月日中友好会館会長と懇談(東京都)</p>	<p>2月5日 皇居・二重橋見学(東京都)</p>
<p>2月5日 考察國會議事堂 和日中友好會館會長 江田五月暢談(東京都)</p>	<p>2月5日 參觀皇居二重橋(東京都)</p>
<p>2月5日 考察国会议事堂 和日中友好会館会长 江田五月暢談(東京都)</p>	<p>2月5日 参观皇居二重桥(東京都)</p>

	
2月5日 歓迎会 植野篤志 外務省アジア大洋州局中国・モンゴル第一課長挨拶（東京都）	2月5日 歓迎会 日港高校生による合唱（東京都）
2月5日 歓迎會 植野篤志外務省亞洲太平洋洲局中國蒙古第一科長致歡迎辭(東京都)	2月5日 歡迎會 日港高中生合唱(東京都)
2月5日 欢迎会 植野篤志外務省亞洲太平洋洲局中國蒙古第一科長致歡迎辭(東京都)	2月5日 欢迎会 日港高中生合唱(東京都)
	
2月6日 愛知県政の説明（愛知県）	2月6日 兵庫県政の説明（兵庫県）
2月6日 愛知縣講座（愛知縣）	2月6日 兵庫縣講座（兵庫縣）
2月6日 愛知县讲座（爱知县）	2月6日 兵库县讲座（兵库县）
	
2月6日 徳川美術館見学	2月6日 兵庫県立美術館見学
2月6日 參觀徳川美術館	2月6日 參觀兵庫縣立美術館
2月6日 参观德川美术馆	2月6日 参观兵库县立美术馆

	
<p>2月7日 愛知県立木曾川高等学校訪問・交流 (愛知県)</p>	<p>2月7日 愛知県立津島高等学校訪問・交流 (愛知県)</p>
<p>2月7日 愛知県立木曾川高中訪問交流 (愛知県)</p>	<p>2月7日 愛知県立津島高中訪問交流 (愛知県)</p>
<p>2月7日 愛知県立木曾川高中访问交流 (爱知県)</p>	<p>2月7日 爱知県立津岛高中访问交流 (爱知県)</p>
	
<p>2月7日 愛知県立昭和高等学校訪問・交流 (愛知県)</p>	<p>2月7日 兵庫県立国際高等学校訪問・交流 (兵庫県)</p>
<p>2月7日 愛知県立昭和高中訪問交流 (愛知県)</p>	<p>2月7日 兵庫県立国際高中訪問交流 (兵庫県)</p>
<p>2月7日 爱知県立昭和高中访问交流 (爱知県)</p>	<p>2月7日 兵库县立国际高中访问交流 (兵库县)</p>

	
<p>2月7日 兵庫県立芦屋国際中等教育学校 訪問・交流（兵庫県）</p>	<p>2月8日 ホームステイ解散式（愛知県）</p>
<p>2月7日 兵庫県立芦屋国際中等教育学校訪問 交流（兵庫県）</p>	<p>2月8日 寄宿家庭歡送會（愛知縣）</p>
<p>2月7日 兵库县立芦屋国际中等教育学校访问 交流（兵库县）</p>	<p>2月8日 寄宿家庭欢送会（爱知县）</p>
	
<p>2月8日 ホームステイ解散式（兵庫県）</p>	<p>2月9日 トヨタテクノミュージアム産業技術 記念館視察（愛知県）</p>
<p>2月8日 寄宿家庭歡送會（兵庫県）</p>	<p>2月9日 考察豊田技術博物館産業技術記念館 （愛知縣）</p>
<p>2月8日 寄宿家庭欢送会（兵库县）</p>	<p>2月9日 考察丰田技术博物馆产业技术纪念馆 （爱知县）</p>

	
<p>2月9日 カワサキワールド視察（兵庫県）</p>	<p>2月9日 七宝焼きを体験（愛知県）</p>
<p>2月9日 考察川崎世界（川崎重工業博物館） （兵庫県）</p>	<p>2月9日 体験制作七寶焼（愛知県）</p>
<p>2月9日 考察川崎世界（川崎重工業博物館） （兵庫県）</p>	<p>2月9日 体験制作七宝焼（愛知県）</p>
	
<p>2月9日 和ろうそく作りを体験（兵庫県）</p>	<p>2月9日 和風温泉旅館で日本文化体験 （滋賀県）</p>
<p>2月9日 体験制作日式蠟燭（兵庫県）</p>	<p>2月9日 在日式温泉旅館體驗日本文化 （滋賀縣）</p>
<p>2月9日 体験制作日式蜡烛（兵庫県）</p>	<p>2月9日 在日式温泉旅馆体验日本文化 （滋賀縣）</p>

	
2月10日 金閣寺見学（京都府）	2月10日 京都国際マンガミュージアム視察（京都府）
2月10日 參觀金閣寺(京都府)	2月10日 考察京都國際漫畫博物館(京都府)
2月10日 参观金閣寺(京都府)	2月10日 考察京都国际漫画博物馆(京都府)
	
2月10日 立命館大学訪問・交流（京都府）	2月11日 津波高潮ステーション視察（大阪府）
2月10日 立命館大學訪問交流（京都府）	2月11日 考察海嘯大潮防禦中心（大阪府）
2月10日 立命馆大学访问交流（京都府）	2月11日 考察海嘯大潮防御中心（大阪府）
	
2月11日 大阪城見学（大阪府）	2月11日 歡送報告會 訪日成果報告（大阪府）
2月11日 參觀大阪城（大阪府）	2月11日 在歡送報告會匯報訪日成果（大阪府）
2月11日 参观大阪城（大阪府）	2月11日 在欢送报告会汇报访日成果（大阪府）

4 香港高校生の感想（抜粋）

○今回の訪問は収穫が多く、日本と香港の違いを学ぶことができた。

その中でも一番印象に残ったのは、高校訪問とホームステイだ。まず学校訪問で、日本の高校生に対する印象がまるで変わった。テレビドラマで見る日本の高校生活は、お互いを探り合ったり、疑ったりいじめたり、授業中は遊んでばかりというものだった。しかし実際は、皆とても純粋な高校生で、教室で一緒に食事をした時、温かくもてなしてくれ、クラスの面白い話をしてくれた。

たった 24 時間のホームステイだったが、ひな祭りといった日本文化や日本人の礼儀を体験し、その 24 時間で深く日本を理解することができた。香港に戻ったら、日本で見聞きしたものを分かち合いたい。もし現地の文化を真に理解したいと思うなら、現地の人々の生活に完全に溶け込むべきで、ためらうことなど何もない。日本人は隣国の友人であり、学ぶべきところがたくさんある。

○今回の訪問で一番印象に残ったのは、ホームステイだ。日本の家庭の日常生活がわかり、日本人と友達になるのに一番良い方法だ。とても短いホームステイだったが、ホストファミリーの温かいおもてなしやフレンドリーさは心に残る思い出。一緒にこたつに入り、日本茶を飲んで、中日の文化やしきたりについて語り合った。3月3日のひな祭りの伝統について教えてもらい、中国の旧正月の風習を紹介した。「寒いですよ」など、いろいろな日本語を教えてもらい、「很冷喲！（寒いよ！）」という中国語を教えた。こんな双方向のコミュニケーションを通し、徐々にホストファミリーと親しくなり、一緒に近くの銭湯に行き温泉に入り、同じ部屋で寝た。

別れのとき、ホストファミリーのお母さんとともに涙した。お父さんに抱かれた子供も手を振ってくれ、お互いにこの素晴らしい友情がずっと続くことを願った。

帰国したら、周りの人に、今回の行程や日本の文化、しきたりを紹介し、日本人はフレンドリーで、とても温かいことを伝えたい。両国関係のために、中国人が日本人のプラスのパワーや、学ぶべき礼儀正しさ、善良さなどの素晴らしい面を軽んじることがないよう願っている。

○日本の高校生の部活動は数えきれないほど多い。例えば剣道、華道、空手などである。また日本の高校生は、朝8時から夜7時まで学校にいて、毎日3時から部活動の練習が始まるのにはびっくりした。また、日本人の精神の集中力は学ぶべきだ。部活動は一つしか選べないので、皆、得意分野を磨くことに集中している。その精神と成長は、彼らの将来の仕事の糧となり、活動の結果にも表れるだろう。最後に、日本人は礼儀正しく、責任感のある民族だと伝えたい。

○今回の訪問で日本人の「気遣い」が一番印象に残っている。キャラクター文化の講義で、講師は日本人はとても他人を気遣うと言及した。日本語のはっきり言わないところと曖昧さは、すべて他の人の気持ちを考えたものだ。今回の訪日で日本人の気遣いを強く感じ、感謝しなければと思う。

高校訪問では、日本の学生はとても積極的で温かかった。学校の感想を次々と質問したり、授業では先生の言っていることがわかるかどうか気遣い、辛抱強く私に説明して

くれ、日本の学生の気遣いを感じる事ができた。

もちろん、学生だけでなくホストファミリーも大変面倒をみてくれた。お母さんは、私のために洋食の夕飯を用意してくれ、お父さんは帰りにわざわざデザートを買ってきてくれた。彼らの至れり尽くせりな対応にとても感動し、感激した。

帰国したら、日本人の他人を気遣う素晴らしい道德感を、自らの日常生活の中で実践し、友達や家族に広めようと思う。将来、日本をまた訪れ、さらに多くの日本の美德を体験できることを願っている。

○JENESYS2.0に参加したほとんどの団員にとって、印象深かったのは、やはり日本の高校生との交流だろう。校門を抜けると、たくさんの学生が温かく手を振って挨拶してくれ、教室に入ると、クラスメイトがどっと押し寄せて声をかけてくれた。彼らのその親しみやすさ、フレンドリーさに心の底から温かくなった。たった数時間だったが、まるで古くからの友達のような感じだった。団の代表がパフォーマンスを行ったとき、皆が温かく拍手してくれ、私の名前を呼んでくれたときの感動が、今でもありありと目に浮かぶ。日本の高校生と一緒に過ごした夜、日本人は喜んで手助けする人々だと深く感じた。女子学生の家ホームステイしたが、彼女はすすんで私のバッグを持つと言ってくれた。こんなおもてなしも素晴らしいものだ。

訪問の全行程で、日本人の礼儀正しさに気付かされた。店員も接客係も皆にっこり微笑んでおり、本当に熱心で楽しく仕事をしている。「日本人のサービス態度」は学ぶべきである。人に対するこのような態度を香港の人に伝え、香港の学生がもっと温かくフレンドリーに、他人を尊重し、喜んで人助けするようになれば、香港は温かい心に満ちた街になるだろう。

○トヨタテクノミュージアム産業技術記念館と津波高潮ステーションで見た、快適で便利、そして安全な生活のためのハイテク製品や防災技術には、日本人の、人のための思う精神が表れていた。その製品も言葉もすべて、相手の安全と更に便利な生活を願ったものだ。この偉大な発明の精神は、我々も是非学ぶべきものだ。

○一番印象に残ったのは、日本人の「細かい心配り」という特徴だ。ホームステイのとき、ホストファミリーはいつも私に必要なもの（タオル、寝床、スノーブーツなど）を細やかに準備してくれた。また、私がピーナッツアレルギーだと聞いて、毎回「これは食べられる？」と聞いてくれた。さらには、丹念に日程を立て、当日の予定を事前に手配して、有名な史跡である名古屋城や地元の女の子に人気のあるショッピングモールに連れて行ってってくれ、日本の女の子の生活を体験させてくれた。私がクリスチャンなので神社の参拝は避け、また、何が必要か、困っていることはないかと考えてくれ、とても細かな心配りをしてくれた。また、クールジャパンの京都国際マンガミュージアムを見学したときにも、日本人の細やかな面を見つけた。ミュージアムの屋外には広々した芝生の広場があって、夏にはそこでマンガを読めるようになっている。館内には子供用のスペースや、遊ぶ施設があり、親が子供の世話をするのにも便利である。そこから、日本人が細かい部分にも心配りをし、人々の些細なニーズに応えようとする姿勢が感じられる。帰国したら、周りの人に、日本人の特徴といえる細やかな心配りを伝え、もっ

と多くの香港の人が日本人を見習って、周囲の人が必要としていることに気を配り、香港がさらに愛にあふれる街になればいいと思う。

○今回訪日団に参加して、収穫が大きかったし、「一万冊の読書は一万キロの旅にしかず」という教えを深く体得した。自ら日本人の生活に融けこみ、日本人のおもてなしぶりを学んだ。また、徳川美術館や金閣寺などを見学し、七宝焼き体験をして、日本の歴史や文化を深く理解することができた。そこから見聞と視野が広がった。これは、多面的かつ文化的に日本の文化に触れる千載一遇の機会であったといえる。流行のアニメが香港の人に娯楽をもたらし、人々を引きつけ、皆の関心の的になっているなど、日本文化は香港にも影響を与えている。

最も印象に残ったのは、やはりホストファミリーとの交流だ。一家で私を細かく気遣ってくれ、何事も私のために、私の立場から考えてくれた。有名な名古屋城に連れて行ってくれたし、また日本のお土産は精巧にできていて、独創的な工芸品の美しさも味わうことができた。日本では文化の伝承もきちんと行われていて、我々も学ぶべきだ。香港は西洋文化が入ってきたことで打撃を受け、文化の保護という意識が徐々に薄れてきた。帰国したら、周りの友達に日本人の礼儀正しさとおもてなしの文化を伝え、自分の目を見た日本の文化伝承や環境保護について共有し、香港の人が文化伝承や環境保護の意識を高めることができればと思う。最後に、帰国後もホストファミリーや日本の学生と交流を続け、連絡し合いたいと思う。中日友好を推し進め、人に礼儀正しく接し、日本の文化を生活に取り入れて、学び続け活用したい。

○今回の交流で一番印象に残ったことは、高校での茶道体験だ。最初に茶道を体験すると連絡があったとき、少し喜べない気持ちもあった。多くの男子学生がそうであるように、私も剣道、柔道といったアクティブな活動が好きだからだ。しかし、後になって、心を静め、茶道の面白みを細やかに味わってみると、茶道の魅力がわかった。

茶道という静態的なプログラムにおいて、日本の学生と交流する機会と時間をより多く得ることができた。日本の高校生が茶道の基礎的なしきたりや知識を教えてくれ、実際に一通りやってみて、自分で点てたお茶とお菓子を味わいながら、日常生活の習慣などの雑談をする中で、行動や習慣、放課後の生活など日本と香港の高校生の違いや共通点に気づいた。

一番感心したのは、日本の学生の「熱心に根気よく教える」精神だ。言葉の壁があっても、嫌がらず教えてくれた。この精神は学ぶ価値があり、友達や家族に是非伝えたい。

○学校訪問時に、日本の学生と英語の授業に参加したことをよく覚えている。たとえうまく通じなくても、次々に英語で質問してくれた。とにかく挑戦し、失敗を恐れない精神は本当に素晴らしい。実際、このような精神は他にも表れていた。トヨタテクノミュージアム産業技術記念館を見学したときも、トヨタの創始者が自動車の研究開発をゼロから始め、挑戦と失敗を繰り返し、その毎回の失敗の中から、経験を汲み取り、総括し、最後には日本第一号の国産車を製造して世界でも最大の自動車メーカーの一つにまでなったと知った。このような精神は、深く印象に残った。

帰国後、主に二つのことを伝えるつもりだ。一つは、みんなに「海は百の川を受け入

れる」という教えを話したい。様々な人がおり、様々な考え方があるが、外国文化を受け入れ、理解し、理性的に分析して深く考えるべきである。二つ目は、「世界大同」ということを伝えたい。現在、グローバル化傾向がますます顕著になっている。人々は、インターネットを通じてより簡単に、あっという間に結ばれる。音楽、美術などの文化はだんだんと近づき、中日間の仲がより良くなり、より確固としたものになっている。友好や平和がより一層深まっていく方が望ましい。

○今回の訪問の内容はバラエティに富んでいて、たくさんの日本の伝統的な建物や博物館を訪れたほか、日本の高校、大学との交流があったが、最も印象深かったのは一晩のホームステイだ。出発前は、ホストファミリーとの話題がなかったらどうしよう、言葉のせいでコミュニケーションがうまくいかないのでは、と心配したが、ホームステイに行ってみると、日本人はとても温かいことがわかり、香港のいろいろなことに興味を示してくれた。香港について次々と質問してくれ、たった1日の間にたくさんの話題について語り合った。香港と日本の電車、香港の学校、天気のことまで、話題に上がらなかったことは何もないくらいだ。積極的に話しかけてくれ、とても楽しかったし、ゲストに対する温かさを感じた。

また、ホストファミリーの気遣いや細かい心配りにも感動した。ホストファミリーの家に着いて、雑談しているときに、日本の神社やお寺に興味があると言ったら、翌日、善光寺と大国霊神社に連れて行ってくれた気遣いに、言葉で言い表せないくらい感動した。また、私が科学に興味があり科学科を履修しているとわかると、私が楽しめるよう、下水道科学館に連れて行ってくれ、日本の汚水処理システムの設置と運用について見学でき、本当に感動した。

ホストファミリーはとてもフレンドリーで、日本の生活を味わわせてくれた。また、日本式の鉄板焼きやラーメンも食べさせてくれた。プレゼントもたくさんもらい、本当に良くしてもらって楽しかった。彼らの友好的で親切な態度に感動し、またとても嬉しく思った。ホストファミリーと心からの友達になれたと思う。

帰国したら、周りの家族や友達に、ホームステイの体験を話し、香港と日本人々は芸術などの文化、生活面でお互いに交流して、お互いの文化を知って、友好的に付き合っていくべきだと伝えたい。

○一番印象に残ったのは、日本人の温かさとおもてなし、そして互いへの思いやりだ。ホストファミリーは、一生懸命おいしい食事でもてなしてくれたし、お店で買い物をしているとき、商品の日本語表示がわからないでいると、日本人が近づいてきて助けてくれ、本当に感動した。

日本はやみくもに経済発展を目指す国ではなく、家族愛や友情を大切にする国だと、皆に伝えたい。知り合ってから時間が浅くても、親しい友達のように接してくれる。また、日本は経済発展のために環境保護を諦めるということはない。街にはゴミがほとんど見当たらないし、工場も汚染物や排ガスの排出が少なかった。

○今回の訪日で、たくさんの大切な思い出ができ、日本に対する印象が深まった。

日本人は、一様に礼儀正しい性質を備えている国民だ。各店や施設でも、皆、笑顔で、

丁寧にお辞儀してくれる。誰もいない車両でも、車掌さんは車両に向かってお辞儀をする。皆、熱心で楽しそうに働き、それぞれのホスピタリティーと温かさが、礼儀正しい態度に溶け込んでいる。地下鉄では、乗客はみな自発的に並ぶので、車掌が注意する必要はなく、日本人が規則を守り人を敬う、礼儀正しい人々だということがわかる。

流行文化については、日本では、カラオケ、プリクラ、ゲームセンターに至るまで、たくさんの文化が独自の発展を遂げている。テレビにはたくさんのバラエティ番組があり、日本人はマンガ・アニメや関連グッズも好きである。これらの文化は、日本で非常に盛り上がり、次第に香港に伝わり、香港でもブームが起きている。

今回の訪日でホームステイが一番忘れがたい。知らない人の家に泊まるというのは、かつてない経験で、初めは不安でいっぱい、言葉の壁でコミュニケーションできないのではないかと心配した。期待と不安のどちらも大きかったが、ホストファミリーのお父さんとお母さんはとてもよくしてくれた。玄関に入り互いに挨拶をすると、お母さんはすぐに家電の使い方を教えてくれた。また、いろいろな料理でもてなしてくれ、至れり尽くせりな対応に感激でいっぱいになった。日本人のおもてなしや人情の厚さを切に感じた。このように誠意のこもった交流を通じ、お互いに心をさらけ出せば、氷に閉ざされた障害を溶かすことができ、心と心を繋ぐことができると分かった。

○今回の訪問で、最も印象に残ったのは、日本人のまじめさと団結だ。歓迎会の日、会場には早くから料理を準備する人がいて、彼らは自分の職場を離れることなく、時間通りに料理の確認をして、間違いがないか見ていた。このような仕事に対する真剣さに、そうでない自分が恥ずかしくなり、日本人のまじめさを見習い、香港に持ち帰りたいとさえ思った。それから、日本の高校生によるパフォーマンスでは、チアダンスのステップがぴったり揃っていて勢いがあり、一瞬で感動し、その団結力は素晴らしいと思った。こんなに揃うまで練習するのは大変だったと思うが、何事も手を抜かないところに頭が下がった。

帰国したら、周りの人に日本の伝統文化やしきたりを話し、日本人の一般的教養はとも高く皆が見習うべきものだ伝えるつもりだ。

○今回の訪日団で、最も印象に残ったのは、日本政府と市民による自国の伝統文化を保護する政策であり、非常にうまく実行できていると思った。香港では、住居と経済発展を維持するため、多くの歴史的建築物を取り壊して住宅を建設しており、香港の伝統工芸や建築物はどんどん少なくなっている。しかし、日本では経済の発展と、自然や文化の保護のバランスが取れており、これは是非学ぶべきだ。

また、日本の学生が部活動にまじめに取り組み、頑張っているところも、香港の学生は学ぶべきだと思う。香港では、学生の部活動の練習は、毎週1、2回だけだが、日本の学生は毎日放課後に練習があり、とても真剣に練習に励んでいる。これは先生そして自分に対する尊重の表れだと思う。香港の学生は何でも満ち足りているため、多くの物事に対し当然のことと思い大事にしないので、このような物事に取り組む態度をすべての香港の中高生は学ぶべきだと思う。

香港に戻ったら、全校の学生に今回のこの忘れ難い経験と、以上に述べたような訪日の感想を伝えたい。